

「プレイバックお絵かき」

ねらい

想像力をつけて、漂着物を観察する。
自分に考えを表現してみる。

場所 海岸 季節 いつでも

用具 クレヨン、色鉛筆など・画用紙・クジラや動物の骨など

導入

海岸でビーチコーミング（漂流物ウォッチング）を行う

展開

見つけた何かの「かけら」、例えば生きものの体の一部、食器の破片などから、想像力を働かせて、それが過去へ生きていた時の様子や、海岸に流れ着く前の様子を絵にしてみる。周辺的环境なども書くように促してもよい。ペアを作り、かけらを交換（プレゼント）して、自分以外が拾ったものについても描かせても面白い。

まとめ

クジラの骨や、大形の動物の骨などのかけらを用意し、グループで砂浜に大きく実物大で「プレイバックお絵かき」を試してみる。